

親子ふれあいあそび

『親子ふれあいあそび』について

今年度の親子ふれあいあそびは、年度はじめの企画に参加者が集まらず中止せざるをえなくなった事からの反省から、まず「音結」を知ってもらおう事からはじめようと考えました。

どのようにしたら信用・知名度を得る事ができるのか……

現在、多くの親子広場があります。それらは、地域に密着し信用・知名度も有ります。

その中の広場型で三回、幼稚園・地域クラブも含め計五回、出張講座を受ける事ができました。

対象者を設定できた講座と、当日、会場ではじめて対象者がわかる講座があり、後者は、私達が考えていたよりも低年齢層で、予定していたプログラムがむづかしかった様です。

どんな場所でも、どんな対象者でも臨機応変に対応できる様にもっと勉強が必要かと反省です。

五回で計百三十余組の親子の参加者、定員をこえた所もあり、参加者募集に悩まされた事は何だったのかと思いました。

子供が少なくなった事は事実なのですが、まだまだ親子広場の要求がある事もわかりました。

ただ五回の講座とも参加者は無料で受講できたと言う点が有りました。

参加費をもらっての事業の困難さも実感しました。又今回は、広報活動・参加者募集・場所の設定等は考えなくても良かったのですが、これらの事をどうしていくかが、これからの課題です。

今回の出張講座で「音結」の名前を少しでも知ってもらえたらどうか、それがこれからの活動につながっていければと願っています。(本田ますみ)



泉大津市立病院ふれあい祭り

2010年10月30日(土) 於 泉大津市立病院ロビー



『泉大津市立病院ふれあいまつりに参加して』

プログラム

- ♪「星に願いを」 トーンチャイム演奏
- ♪「わたしと ことりと すずと」 コーラス
- ♪「どうして いつも」 うたと楽器演奏
(音楽療法ならではの楽器多種)



泉大津市立病院ロビーにて音結メンバー7名出場
気分はハロウィン!! 頭には色画用紙で手作りの帽子、カラフルなチュールを身にまとい、顔にはフェイスペインティングを施し、いざ出演。

朝からの練習を含め3回という練習時間が少ないにもかかわらず、演奏を終えて、どこか心地よいものが残ったのはなぜでしょう。メンバーと一緒に同じ目標に向かったことが、音結のモットー「人と人の絆を深める」という時間を共有できたことでしょうか。

このときの気づきがきっかけとなり、音結の成長へと発展していくのなら嬉しい限りです。(松寺佐知子)

